



森林について知ろう！



地球の温暖化と森林

石油などの化石燃料の大量消費や森林の減少などにより、大気中の二酸化炭素が増えています。このままでは、増えすぎた二酸化炭素がもたらす温室効果で地球の温暖化が進み、地球の環境が大きく変わってしまうかもしれません。二酸化炭素を減らすための数少ない手段の一つが植物の光合成です。なかでも森林の木々の大きな体は、たくさんの二酸化炭素を取り込んで固定することができます。いわば二酸化炭素の缶詰なのです。

温室効果の仕組み

空気中の二酸化炭素が増えると、地球から熱が逃げにくくなり気温が上昇します。二酸化炭素が温室のガラスの役割をするのです。

森林整備

前回は林業作業の下刈り、除伐・つる切りについて説明しました。おさらいすると、下刈りは、苗木の生育を妨げないように周りの雑草木を刈り取り、日光が当たるようにすること、除伐・つる切りは植栽木の生育を妨げる雑木やつる植物、成長や形式の悪い木を伐採することです。今回は林業作業の枝打ちと間伐について説明します。



まず林業作業の「枝打ち」について説明します。

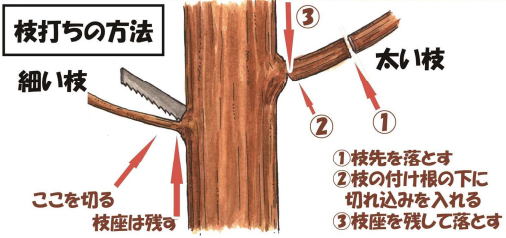
枝打ちとは、節のない良質材を生産するために余分な下枝や枯れ枝を切り落とすことです。

そのほかにも林内の光環境の改善にもつながります。



林業作業 その4 枝打ち

節のない上質な木に育てるために、余分な下枝を切り落とします。



- 枝打ちの意義**
- ・無節、死に節のない材の生産
 - ・林内の光環境の調節
 - ・病害虫の防除
 - ・林内の見通しを確保

次に林業作業の「間伐」について説明します。

間伐とは、森林が混み合うのを防ぐため、植栽木を間引きすることです。



林業作業 その5 間伐

健全な成長を促すために、混み合った植栽木を間引きします。

間伐は、まず伐る木を選ぶ「選木」を行います。



適切な間伐は森を健全に保ちます。間伐材を家具や燃料に利用することは、間伐を促進し森林の多面的機能の発揮に貢献します。



適切な間伐をしないと木は互いに成長を阻害しあう上、林床に光が届かず、植生もなくなるので、土壌の流出が起きやすくなります。